



プロフェッショナル

島根の専門家と  
建設関連企業を  
つなげる

しまね

興業タイムス

検索



職場環境や人材育成について意見が交わされたパネルディスカッション

県公共建築品質確保

建築協  
建推進  
共確保  
公品質

# 担い手確保でシンポ イメージ払拭と 育成面での協同を

推進協議会（会長・山口研吾県総務部長）は、10月29日、「しまねの建築業の未来」―担い手確保と育成に向けて―をテーマにシンポジウムを開催。関係者約100人が参加した。蟹澤宏剛芝浦工大建築学部建築学科教授が基調講演。建設業の担い手確保を難しくしている要因や大手ゼネコンに従事する職長の意識、諸外国での建設職人の労働環境などの調査分析を示し、「エンドユーザーが抱いている建設業の悪いイメージを払拭させることが先決。メディアを通してイメージ戦略を展開するとともに、建設技

能者の労働環境を整備し、技能のレベルアップと資格の見える化に業界全体で取り組むべき」と指導した。また新卒者の入社3年以内

の離職率が高いことにも触れ、多様なキャリアパスが可能となるよう社業を充実するほか、複数の企業が合同で人材を育てるなど育成面での協同が必要と指摘した。

パネルディスカッションは、島大総合理工学部建築デザイン学科の細田智久教授をコーディネーターに、県内の建築・設備企業や学校関係者がパネリストとなり働きやすい職場環境や人材育成について意見交換をした。

この中で「入社後のミスマッチを解消するため学生と触れ合う機会をできるだけ設けるべき」「出産や子育てなど人生で最も大切なことを支援し寄り添う企業姿勢が大切」「高

同協議会は19年11月、公共建築の品質確保と担い手育成を目的に建築関係団体や県、19市町村で発足。公共建築における設計・施工の適正化と、建築業界への若年者の入職促進に取り組んでいる。パネリストは次の皆さん。

鐘築邦彦（御船組）  
▽山本翔（島根電工）  
▽古志野純子（長岡塗装店）  
▽守下俊秀（松江工業高校）